慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	緒言
Sub Title	Preface
Author	白井, 浩司(Shirai, Koji)
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1980
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.40, (1980. 9) ,p.1- 2
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	特集・ 文学と都市
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00400001-0001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

緒　言

「芸文研究」は、もともと年二回の発行が原則であったが、諸物価の騰貴によって数年前からこの原則を維持することが不可能になった。その後、会費の値上げによって、幸い苦境を乗切ることができたので、年二回の発行に移行する日も近いと思う。

今回の「芸文研究」は、昨年（昭和五十四年）十二月七日、三田の西校舎五一九番教室において開催されたシンポジュム「文学における東京」を全文収録した。

芸文学会は春（むしろ初夏と言うべきか）に少壮研究者の発表会を、秋（むしろ初冬と言うべきか）に専門家たちによるシンポジュムを、それぞれ開催するのを恒例としている。昨年の場合は、池田彌三郎教授が本年三月、定年退職されるのを記念して表記の題目の下に行なわれたが、さしもの大教室も立錐の余地なき盛況であった。池田教授の発言を主軸に展開されたシンポジュムは、英、独、仏各国との対比によって、東京の特異性をさらに浮彫りにすることができたと思う。まことに実り豊かなシンポジュムであった。

昭和五十五年九月

白井浩司